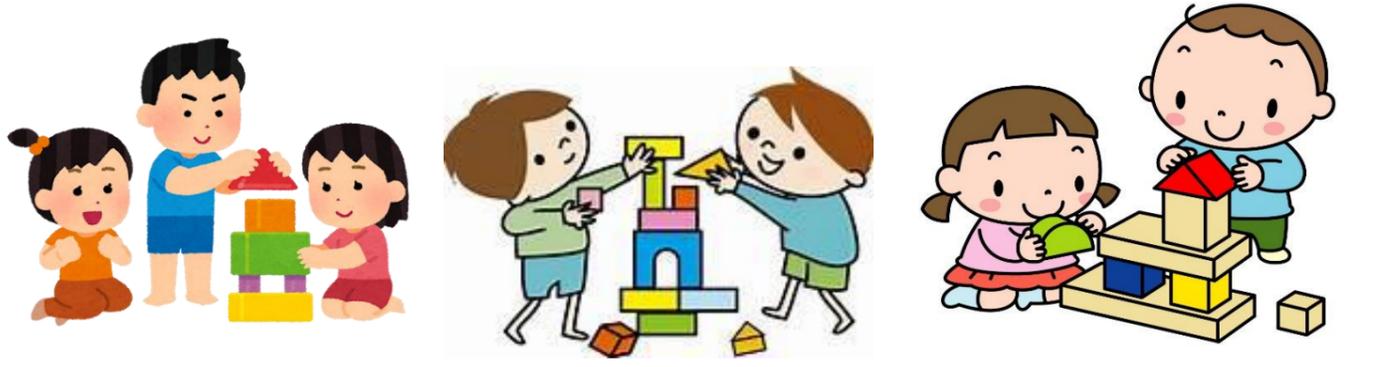




じめじめと蒸し暑かったり、急に肌寒くなったりと気温の変化が激しく過ごしにくい日々が続いて体調を崩しやすい時期でしたね。健康でいるための対策として“早寝早起き朝ごはん”“手洗いうがい”“適度な運動”などがあげられます。先日子ども達も、看護師や栄養士さんの話を聞いて、「昨日、卵食べたよ」「野菜、頑張って食べたよ」「早く寝たよ」等子ども達も健康に気付くようになりました。私達大人も予防、対策をとって菌に

年長になりますます友だちとの交流が盛んになってきたにじ組さん。体や心の成長とともに、自分たちでごっこ遊びなどを工夫して友だち同士遊ぶ姿がみられるようになってきました。遊んでいる中で自分の思いが強かったり、友だちと意見の相違が生まれ喧嘩になる事も多々あります。相手の思いを受け止める力を育てるための一つの方法として非認知能力があります。非認知能力と一言で言っても意欲・楽観性・忍耐力・自制心・自信・思いやり・コミュニケーション等があるのですが、IQや学力など数値で測れるものではなく、協調性やコミュニケーション能力といった、数値では測ることのできない心の力を育むことを言います。この非認知能力が育つことで心の土台となって社会を生き抜く力…つまり認知能力の高まりにもつながっていくのです。園生活は、保護者の元を離れ、集団生活を初めて経験する社会生活の第一歩です。集団生活で家庭では経験できない友だちとのやり取りや積み木やごっこ遊びなど人と上手に関わる力や目標に向かって頑張る力が養われていきます。特にごっこ遊びはいろいろな物に見立てたり、役になりきることで想像力を働かせるので、非認知能力を育てる力として有効であると言えるでしょう。その他にも、積み木、わらべうたや体育遊び、ドッチボールやゲーム、植物を育てたり等、友だちと一緒に協力することで協調性やコミュニケーション力が養われます。私達大人は子ども達のちょっとした変化に気付き、友だちや周りの人に対して素敵な発言や行いをしたら、「～してくれてありがとう」と感謝の気持ちを伝えていきます。そうすると、子ども達も大人や周りの友だちの良かった事に気付き感謝の気持ちが伝えられるようになってきました。友だちの良さ、人からして貰って嬉しかった事、友だちの良い所に目が向けられるように大人が「ありがとう」と積極的に伝えていきます。



非認知能力を育てる遊び



目標に向かって頑張る力



人とうまく関わる力



協力したらかっこいい積み木の作品ができたぞ！やった！（協調性、共感）

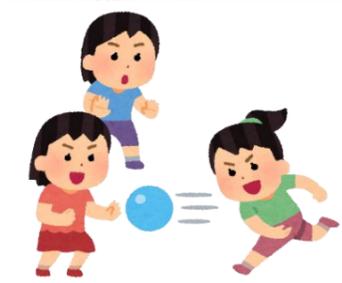


感情をコントロールする力



失敗して転んじゃった！でも次は失敗しないように頑張ろう！（やり抜く力、忍耐力）

自己肯定感や思いやり、社交性、自制心、共感する力などの感情



お泊り会に向けての活動

◎グループ名決め

お泊り会に向けての活動の一つで、グループ名を決めよう！とみんなで考えました。普段は「1便」「2便」と呼んでいるのですが、子どもたちで考え1便→「ありがとうチーム」 2便→「ゆきだるまチーム」になりました！

◎グループのリーダー決め

子ども同士で意見を出し合ったり、話し合っ決めて経験ができたらいいなと思い、各チームに1名リーダーを決めました。リーダーになった子を中心に話し合いの場を設けたり楽しく活動していきたいと思ひます。

思い出に残る楽しいお泊り会になるといいなと思ひています♪